



平成25年度 2級舗装施工管理技術者試験 〔一般試験〕解答試案

問	解答	ポイント解説
1	3	軟弱地盤層全厚の強度増加は図れない
2	4	原則として谷積みとする
3	3	高規格道路の中央分離帯には使用せず
4	2	他は現地盤面より上の作業に適する
5	4	十分な灌水が必要である
6	2	任意仮設は受注者の裁量で設置する
7	3	路床についての記述になっている
8	2	耐流動性や水密性に富む舗装
9	1	(2) PK-4 (3) PK-3 (4) 80~100
10	4	上層路盤に用いられる
11	1	耐流動性、耐摩耗性等に優れる
12	2	単位水量はできるだけ少なくする
13	4	沸点や融点等は品質規格項目に無い
14	1	最適含水比よりやや湿潤側で締固める
15	3	セメント・瀝青安定処理工法は上層路盤
16	2	混合物の分離が生じやすくなる
17	1	継目の位置は重ねないようにする
18	3	PK-2 (浸透用乳剤)の使用は無意味
19	4	(1) 全て一層で締固める (3) 1時間以内
20	2	(3) 締固め・粗仕上げはコンクリートフィニッシャーで攪拌・混合・運搬を行う
21	1	コンクリートフィニッシャー等で締固める
22	3	路面のたわみ量を測定する
23	4	すべり摩擦係数は路面性状である
24	3	(1) プレート砕石の散布 (2) 路床の安定処理 (4) 路盤材やアスファルト混合物の敷均し
25	1	原価に関する事項は記載しない
26	4	元請業者が種類毎、運搬先毎に交付
27	2	工期に影響する作業は把握できない
28	1	道路管理者及び所轄警察署長の指示
29	2	高さ1m程度、夜間150m前方から
30	4	受注者は施工の工程を管理し、品質管理を行う

問	解答	ポイント解説
31	1	(2) 基準密度 (3) 基準密度の95.5%以上 (4) 基準密度
32	4	締固め度は品質管理項目である
33	2	ポラスアスファルト混合物の検査項目
34	3	現場透水量試験器で測定する
35	1	毎週1回、又は4週を通じて4日以上
36	4	職長教育に賃金に関する項目はない
37	3	下請は主任技術者を配置する
38	1	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音には環境基準が定められている
39	2	騒音は85 dB、振動は75 dB
40	3	建設発生土、コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、木材の4種類が指定副産物



平成25年度 2級舗装施工管理技術者試験 〔応用試験〕 解答試案

問1. 経験記述

省略

問2. 舗装の設計

①	路面
②	構造
③	49
④	舗装計画交通量
⑤	4.4

問3. アスファルト舗装に用いる材料

①	ホイールトラッキング試験
②	ポーラスアスファルト混合物
③	タックコート
④	加熱アスファルト安定処理路盤材料
⑤	セメント

問4. アスファルト舗装の下層路盤の施工

①	最適
②	曝気乾燥
③	セメント
④	3
⑤	表面保護

問5. アスファルト舗装の破損および補修

①	ポットホール
②	塑性変形
③	リフレクションクラック
④	剥離
⑤	中温化技術